第２回研修会・東近江市奥永源寺の愛知崖での研修報告

報告者　小西　民人

参加者　６月　６日下見　高橋、水田、橋木、関澤、小西、高村(一般)　６名
　　６月２８日本番　梶谷、高橋、平田(2)、高田、小西　　６名

下見は相谷と愛知崖の２地点で予定通り実施しましたが、本番予定の６月１４日はあいにくの雨で延期、２週間後に愛知崖に絞って実施することができました。

多くの樹木に出会え、確認できた樹木は、愛知崖だけで低木やつる性の木本も含めて２日間に１２０種。まだ何種類もありそうで、あの限られた狭い範囲に草本も合わせると２００種以上の植物が生育している様に思います。

確認の樹木の詳細は、アカネ科(ヘクソカズラ)、アケビ科(アケビ)、アサ科(エノキ)、アジサイ科(イワガラミ、ウツギ、コアジサイ、ノリウツギ、ヤマアジサイ)、アワブキ科(アワブキ)、イラクサ科(コアカソ)、ウコギ科(タカノツメ、タラノキ、ハリギリ)、ウルシ科(ツタウルシ、ヌルデ、ヤマウルシ)、エゴノキ科(アサガラ、エゴノキ、オオバアサガラ)、カキノキ科(カキノキ、リュウキュウマメガキ)、カバノキ科(アカシデ、イヌシデ、オオバヤシャブシ、クマシデ、ヒメヤシャブシ)、ガマズミ科(ガマズミ、ニワトコ)、キブシ科(キブシ)、キョウチクトウ科(テイカカズラ)、キリ科(キリ)、クスノキ科(アブラチャン、カゴノキ、カナクギノキ、クロモジ、シロダモ、シロモジ、ダンコウバイ、ヤブニッケイ)、クルミ科(オニグルミ)、クワ科(イタビカズラ)、コミカンソウ科(コバンノキ)、サルトリイバラ科(サルトリイバラ)、シソ科(クサギ、ムラサキシキブ)、ジンチョウゲ科(オニシバリ)、スイカズラ科(スイカズラ、タニウツギ)、ツツジ科(アセビ、トサノミツバツツジ、ヤマツツジ)、ツヅラフジ科(アオツヅラフジ、オオツヅラフジ)、ツバキ科(チャノキ、ヤブツバキ)、トウダイグサ科(アカメガシワ、シラキ)、ニガキ科(ニガキ)、ニシキギ科(ツルウメモドキ)、ニレ科(ケヤキ)、バラ科(アカメモチ、ウワミズザクラ、エビガライチゴ、カスミザクラ、クサイチゴ、クマイチゴ、ナガバモミジイチゴ、ナワシロイチゴ、ニガイチゴ、ノイバラ、フユイチゴ、ヤマザクラ、ヤマブキ)、ヒノキ科(スギ、ヒノキ)、フサザクラ科(フサザクラ)、ブドウ科(サンカクヅル、ツタ、ノブドウ)、ブナ科(ウラジロガシ、クリ、コナラ、シラカシ)、マタタビ科(サルナシ、マタタビ)、マツ科(アカマツ、モミ)、マツブサ科(シキミ、マツブサ)、マメ科(イタチハギ、キハギ、ジャケツイバラ、フジ、ユクノキ)、ミカン科(カラスザンショウ、サンショウ)、ミズキ科(クマノミズキ、ミズキ、ヤマボウシ)、ミツバウツギ科(ゴンズイ、ミツバウツギ)、ムクロジ科(イタヤカエデ、イロハモミジ、ウリカエデ、ウリハダカエデ、オオモミジ、オニイタヤ、コハウチワカエデ)、モクセイ科(アオダモ、ヒイラギ、マルバアオダモ)、モクレン科(タムシバ、ホオノキ)、モチノキ科(アオハダ、ソヨゴ)、ヤナギ科(アカメヤナギ、イイギリ、コゴメヤナギ)、ユズリハ科(ユズリハ)、リョウブ科(リョウブ)。　以上、４９科１２０種。

今回の研修は、マメ科のユクノキの花を確認するということがメインでしたが、何年かに一度しか開花しないということで、昨年に続いて今季も未開花で終わりました。一昨年は沢山咲いていたので、来年か再来年に期待してこの地での研修を計画できればと思います。ユクノキの開花が見られなくとも、この

地はほぼ植林もなく、昔ながらの里山の状態が維持され、暖温帯から中間温帯に見られる樹種が多く生育する、多様性に富んだよい環境と感じました。アップダウンが少なくて比較的歩きやすいので樹木の研修場所としては優れていると思います。難点はヤマビルの生息地であることです。本番の日には、いくつも近寄ってきましたし、実際二人の方が被害にあいました。ヤマビル対策がここで研修する上で一番の留意点と感じました。また、ヤマビルの存在はシカ等がいるということで、シカの嫌いな有毒植物や刺のあるもの、臭いの強いもの、食感の悪いものなどが見られました。特に、鋭い逆刺を持つジャケツイバラや有毒のマルミノヤマゴボウなどが目立ちました。

愛知崖を中心に、下見で訪れた相谷も含めて下見と本番両方で確認し撮影したものを掲載して報告とします。

《相谷》

ヤマイバラ（バラ科バラ属）

サンカクヅル（ブドウ科ブドウ属）

ヤブムラサキ(シソ科ムラサキシキブ属)

キアシドクガ(ドクガ科)食草ミズキ等

ジクホコリ(変形菌ジクホコリ属)

左を拡大したもの

《愛知崖》

イワガラミ(アジサイ科アジサイ属)
装飾花は１枚。

ミツバウツギ(ミツバウツギ科 〃 属)
果実は袋果。

オニグルミ(クルミ科クルミ属)
未成熟の果実、今年は生り年？

ムラサキシキブ(シソ科ムラサキシキブ属)
花も紫。

ミズキ(ミズキ科ミズキ属)　葉は互生

クマノミズキ(ミズキ科ミズキ属)葉は対生

オカトラノオ(サクラソウ科)

オオハンゲ(サトイモ科)

オカタツナミソウ(シソ科)

ジャケツイバラ
(マメ科ジャケツイバラ属)

ジャケツイバラの若い果実

かなり成長した果実

アサガラ(エゴノキ科アサガラ属)
花はオオバより早い。横広につく。

オオバアサガラ(エゴノキ科アサガラ属)
花は縦長につく。右の写真は果実。

ユクノキ(マメ科フジキ属)の幼木
奇数羽状複葉の小葉は互生につく。

サンショウ(ミカン科サンショウ属)

エビガライチゴ(バラ科キイチゴ属)

アワブキ(アワブキ科アワブキ属)

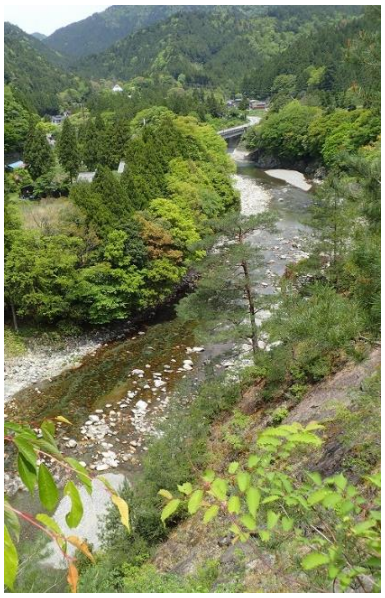
イイギリ(ヤナギ科イイギリ属)
雌雄別株でこれは雌株。

雌花、丸い子房の根元に
退化した雄蕊が覗く。

本番で見た若い果実。

アカメガシワ(トウダイ
グサ科アカメガシワ属)

キブシ(キブシ科キブシ属)



もうすぐ終了。蓼畑を望む。

お疲れさまでした。集合写真。

その２。